

# えらいこっちゃ! 今世紀末、大阪府の平均気温は約4℃上昇!

気温35℃以上の猛暑日が55日も増加。

地球温暖化は、私たちが暮らす大阪にとっても他人事ではありません。大阪府域における気候変動の将来予測によれば、21世紀末では、年平均気温が約4℃上昇\*。最高気温35℃以上の猛暑日が、年間55日程度増加\*すると予測されています。



一人ひとりが少し変われば、大阪の未来は大きく変わります。

**このままではアカン!**

## 大阪府地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

2030年度の府内の温室効果ガス排出量 **40%削減** (2013年度比の削減目標)

大阪府「運輸部門」の温室効果ガス排出量 **650万トン/年** (CO<sub>2</sub>換算)

すべて吸収するためには 府面積の約4倍の杉林が必要!

36~40年生の杉の人工林1ha(杉・1,000本)が吸収するCO<sub>2</sub>の量は、年間約8.8トン\*。650万トンのCO<sub>2</sub>は、府面積(約19万ha)の約4倍の杉林の年間吸収量に相当します。

**運輸部門の87%を自動車が出す!**

大阪府では「2030年のCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ」の将来像を見通しつつ、2030年に向けては、万博のテーマである「いのち輝く未来社会」のためのアイデアを実現していく大切な時期であると位置づけています。気候変動に対する危機感や脱炭素社会に向けた認識を社会全体で共有し、一人ひとりが意識を変え、行動していくことが大切です。

2030年に府域の新車販売台数の **90%を電動車に!**

府内の電動車の割合は36.6%。大阪府では、2030年度に90%にする目標を掲げています。

脱CO<sub>2</sub>のカギは電動車!!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

大阪府の計画について、詳しくはコチラ

\*杉のCO<sub>2</sub>吸収量は、林野庁の試算による。

### 毎日の生活にも「脱CO<sub>2</sub>」のチャンスがいっぱい!

- リビングで** 観ていないテレビ、使わない部屋の照明はOFF!
- バスタイムに** シャワーやお湯の出しっぱなしに気をつけるね!
- ドライブ前に** パパ!使わないゴルフバッグ、おろしてね!
- 電気製品は** 部屋を片付けて、掃除機を使う時間を短縮だ!!

もしものとき... **電動車は電源に。**

給電機能で、食事や灯り、情報も!!

トヨタの電動車の多くには、「アクセサリコンセント」(AC100V・1500W)が設定されており、停電時に、炊飯器・照明・スマホの充電など、災害時の暮らしを支えます。

●アクセサリコンセント(AC100V・1500W)は、車種やグレードにより装備の設定が異なります(設定のない車種やグレードもあります)。

電動車で「安心」を備えましょう。

# わが家のカーボンニュートラル

CO<sub>2</sub>削減へ! 家族で考えるクルマ選び。

CARBON NEUTRAL



大阪府と大阪地区トヨタ各社は、包括連携協定を締結し、電動車の普及促進を通じて、地球温暖化対策に向け取り組んでいます。





素敵な未来を  
叶えるための  
身近な解決策!

# 電動車を選ぶことは、快適な明日を考えること。

FCEV PHEV HEV BEV

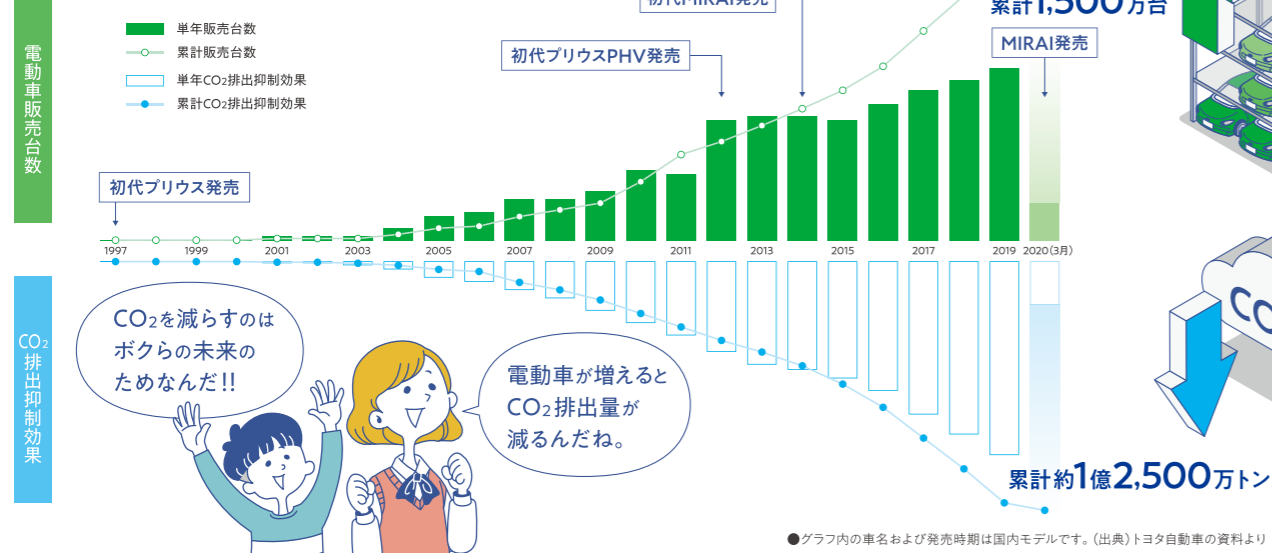
電気を動力に使う  
クルマを「電動車」って  
呼ぶんだよ。

## 家庭から排出されるCO<sub>2</sub>の約1/4は、自動車から。

2050年までにCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)の排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」が話題になっています。産業だけでなく、私たちの家庭生活からもたくさんのCO<sub>2</sub>が排出されており、その約1/4はクルマから。CO<sub>2</sub>の排出が増えれば地球の温暖化は進みます。CO<sub>2</sub>の排出を抑えたクルマ選びは、快適な明日につながっています。

トヨタはハイブリッド車などの販売により、1997年から2020年3月までに **約1億2,500万トンのCO<sub>2</sub>を削減!**

■ グローバル電動車販売台数とCO<sub>2</sub>排出抑制効果  
(2020年3月末時点)



クルマ選びの  
キーワードは、  
「脱CO<sub>2</sub>」です。



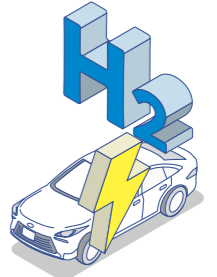
## FCEV

燃料電池自動車

水素で発電して走行、CO<sub>2</sub>排出ゼロで、出るのは水だけ。  
通勤利用なら月一回の満タンでOK!

燃料電池自動車は、水素と酸素の化学反応で発電した電気を使ってモーターで走行。走行中に排出されるのは「水」だけでCO<sub>2</sub>の排出はゼロ!トヨタの「MIRAI」は、一回あたり3分程度<sup>\*2</sup>の水素充填時間で、ロングドライブを可能にします。

※1.週5日、往復20km程度の距離を通勤だけに利用した場合。※2.SAE規格(U2601)の標準条件(外気温20℃、高圧水素タンク内の圧力10MPaからの充填)に基づいた水素充填圧82MPaステーションでの充填作業におけるトヨタ測定値。水素充填圧および外気温により、充填時間は異なります。



水素で発電して  
走るんだ!

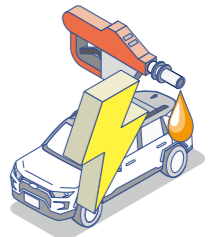


## PHEV

プラグインハイブリッド車

環境への優しさも、優れた走りも、まさに“イイとこどり”!  
ライフスタイルを広げる「移動する電源」。

PHEVは、言わば「自宅で充電できるハイブリッド車」。買い物など日頃のお出掛けは、電気だけで走行。長距離ドライブは、電気とガソリンを効率よく利用するハイブリッド走行。さらにAC外部給電システムを活用すれば、アウトドアの楽しみ方が広がります。



キャンプが  
楽しくなりそうね!

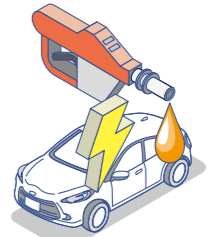


## HEV

ハイブリッド車

発売以来20年以上が経過した実績のあるシステム。  
車種のバリエーションも豊富です。

ガソリンによる「エンジン走行」と、走りながらバッテリーに蓄えた電気による「モーター走行」をクルマ自身が効率よく選んで走行。長距離ドライブも得意です。トヨタでは、ハイブリッド車を20年以上前から販売しておりバリエーションも豊富です。



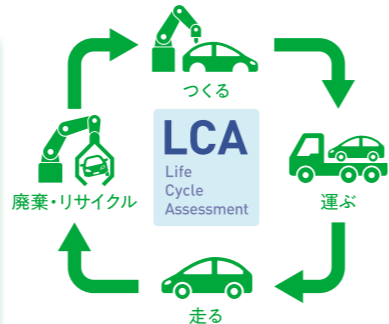
ミニバンも、  
コンパクトもSUVも!!



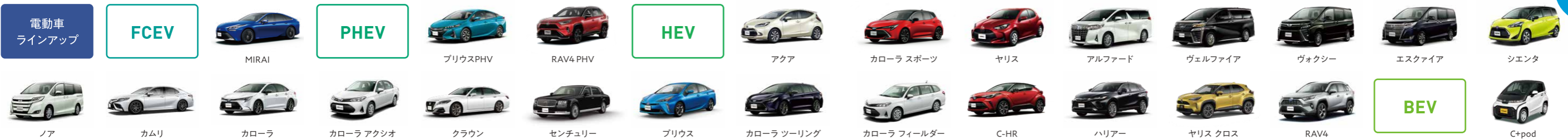
## つくる時も、リサイクルする時も、クルマのすべてのシーンでCO<sub>2</sub>排出ゼロを。

クルマが走る時に排出するCO<sub>2</sub>を減らすだけではなく、クルマをつくる時、運ぶ時、廃棄・リサイクルする時などにおいてもCO<sub>2</sub>排出を減らさなければ、カーボンニュートラルは達成できません。トヨタでは、LCA(ライフサイクルアセスメント)という考えのもと、クルマのライフサイクル全体で「脱CO<sub>2</sub>」にチャレンジしています。

CO<sub>2</sub>の削減は、  
走るだけに  
限らないよ!



## トヨタの多彩な電動車ラインアップは、脱炭素社会へ向けた「多様な選択肢」です。



脱炭素社会への  
「こたえ」は  
ひとつじゃないんだよ。



●PHEVとPHVは同じものを指しています。●掲載の内容は2021年8月現在のものです。